



目次

砂浜海岸で確認された種

アユ	1 p
ヒメハゼ	1 p
カズラガイ	2 p
バイ	2 p
アミメキンセンガニ	3 p
ヒラツメガニ	3 p
ガザミ	4 p
タイワンガザミ	4 p
イシガニ	5 p
マナマコ	5 p

魚類調査の為の刺網中に採取された底生動物は便宜上こちらで紹介されています。

緩傾斜護岸で確認された種

アイナメ	6 p
クジメ	6 p
アナハゼ	7 p
マアジ	7 p
クロダイ	8 p
マダイ	8 p
メジナ	9 p
イシダイ	9 p
ウミタナゴ	10 p
キュウセン	10 p
ホンベラ	11 p
ギンボ	11 p
サビハゼ	12 p
ショウサイフグ	12 p

直立護岸で確認された種

メバル	13 p
ダイナンギンボ	13 p
ビリンゴ	14 p
シマウシノシタ	14 p
クサフグ	15 p

沖合いで確認された種

コモンサカタザメ	15 p
アカエイ	16 p
コノシロ	16 p
カタクチイワシ	17 p
サケ	17 p
オニオコゼ	18 p
ホウボウ	18 p
マゴチ	19 p
スズキ	19 p
シロギス	20 p
ブリ	20 p
マルアジ	21 p
アカカマス	21 p
マサバ	22 p
サワラ	22 p
ヒラメ	23 p
イシガレイ	23 p
ササウシノシタ	24 p
クロウシノシタ	24 p
アカシタビラメ	25 p
アミメハギ	25 p
ウマズラハギ	26 p
ヒガンフグ	26 p
シマフグ	27 p

さかな図鑑

●種名● アユ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

北海道西部～南九州、朝鮮半島～ベトナム国境近くまでの
中国大陸沿岸部と台湾に分布する。

●形態●

体長30cm。仔稚魚期はイワシ類などのシラス型を呈す
る。

●生活●

アユの海域での生活は仔稚魚期に限られる。砂浜海岸の碎
波帯などのごく浅海域に生息する。

●食性●

海域では摂餌は昼間だけ行う。主に浮遊性カイアシ類である。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ヒメハゼ

●写真●



●分布●

宮城県・山形県以南の本州、四国、九州、琉球列島に分布
する。

●形態●

体長8cm。下あごが上あごより突出している。体の前半に
比べて尾柄が著しく細い。

●生活●

河口域やそれに続く前浜干潟に生息する。砂底を好む。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

底生動物図鑑

●種名● カズラガイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 房総半島以南、台湾に分布する。

●形態●

殻高約7.5cm。肩角にとげ状の結節列があり、また縦張肋がある。体層には大きい格子目状または帯状の黄灰色斑がある。

●生活●

水深10～50mの砂底に生息する。

出典：世界文化生物大図鑑 Illustrations of animals and plants 貝類
(株式会社 世界文化社)

底生動物図鑑

●種名● バイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道南部～九州、朝鮮半島に分布する。

●形態●

殻高7cm。殻は厚く平滑で、白地に褐色斑列がある。殻口内は淡い青色を帯びた白色。

●生活●

潮間帯より水深10mの砂底にすむ。普段は底質中にひそみ、水管のみをだしている。

出典1：日本近海産貝類図鑑（東海大学出版会）
出典2：世界文化生物大図鑑 Illustrations of animals and plants 貝類
(株式会社 世界文化社)

底生動物図鑑

●種名● アミメキンセンガニ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 房総半島以南沖縄諸島までに分布する。

●形態● 甲長4cm。甲は丸い。甲色は暗紫色の網目状紋様。全脚共に汚黄色。

●生活● 潮間帯から潮下帯にかけての砂底に生息する。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑〔Ⅱ〕（保育社）

底生動物図鑑

●種名● ヒラツメガニ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道忍路湾、函館から沖縄諸島までに分布する。

●形態● 甲長5.3cm。甲は扇型で丸みを帯び、中央にH字状の溝が明瞭に刻まれる。

●生活● 浅海の砂・泥底に生息する。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑〔Ⅱ〕（保育社）

底生動物図鑑

●種名● ガザミ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 函館から九州までに生息する。

●形態●

甲長85mmまで。額に3棘あり、中央の歯がやや小さい。体色は甲の周辺と鋏脚全節及び泳脚の大半は暗紫色の地に白斑が雲紋状に散布する。

●生活●

各地浅海の砂泥底に生息する。河口に近い砂底にすみ、夜間泳ぎで活動する。

出典：原色日本海岸動物図鑑（保育社）

底生動物図鑑

●種名● タイワンガザミ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

相模湾以南の太平洋岸、山形県以南の日本海岸、沖縄諸島に分布する。

●形態●

甲長6.4cmまで。甲面は小顆粒を密布する。

●生活●

浅海の砂・砂泥底に生息する。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）

出典2：原色検索日本海岸動物図鑑〔Ⅱ〕（保育社）

底生動物図鑑

●種名● イシガニ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 房総半島から九州までの各地沿岸に分布する。

●形態● 甲長6.2cm。甲面は短毛で覆われる。

●生活● 内湾の潮間帯・潮下帯の岩礁底・礫底・砂底に生息する。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑[Ⅱ]（保育社）

底生動物図鑑

●種名● マナマコ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 千島より九州南端にいたる日本各地に生息する。

●形態● 体長20～30cm。幅6～8cm位が普通。体色は大体2型あって、濃淡の栗色か、暗黄緑から暗黒。腹面はいずれも赤色を帯びている。

●生活● 浅海にすみ、昼夜を問わず食物をとるが、夏季は通常休眠する。骨片は櫓状体を主とするも、成長にしたがって形に変化を生ずる。

出典1：原色日本海岸動物図鑑（保育社）
出典2：原色検索日本海岸動物図鑑[Ⅱ]（保育社）

さかな図鑑

●種名● アイナメ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本沿岸各地、朝鮮半島南部及び黄海に分布する。

●形態● 体長65cm。体色は一般に淡褐色～茶褐色だが、生息場所により暗緑色や灰色などに変化する。

●生活● 底生性で沿岸の岩礁域や砂利底に生息する。単独生活をする。

●食性● ワレカラ類、ヨコエビ類、ゴカイ類、小形魚類などを食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● クジメ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本沿岸各地、朝鮮半島南部及び黄海に分布する。

●形態● 体長30cm。体色は一般に暗褐色で、体側に小さい白斑をともなう。

●生活● 藻場やその周辺に生息する。一般にアイナメより浅い場所にすむ。

●食性● ワレカラやヨコエビなどの小形甲殻類を食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● アナハゼ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道南西部以南に分布する。

●形態● 体長21cm。体は細長く側扁する。吻は細くとがる。体表は滑らかで、脇部の小鱗と皮下の側線鱗以外の鱗はない。

●生活● 潮間帯、浅海の岩礁域や藻場に生息する。

●食性● 肉食性で小形甲殻類などを捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● マアジ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道以南の日本各地、朝鮮半島、台湾、黄海、東シナ海、南シナ海の大陸沿岸に分布する。

●形態● 体長40cm。体は細長く側扁する。背方は暗青褐色から黄褐色。腹方は銀白色。

●生活● 回遊性で、主に沿岸からやや沖合いの中底層に生息する。

●食性● 成魚ではイワシ類やキビナゴ、オキアミ類、プランクトン甲殻類、イカ類などを捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● クロダイ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道以南、朝鮮半島南部、中国の渤海、黄海、台湾に分布する。

●形態● 体長60cm。体は楕円形でよく側扁する。吻はややとがる。体色は銀白色または暗灰色。

●生活● 水深50m以浅の内湾、沿岸岩礁域、藻場や砂泥地、河口域などに広く分布する。

●食性● 成魚は小型甲殻類から多用な大型の動物を餌にするが、海藻類も食べ、貪食で雑食性が強い。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● マダイ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道以南の日本周辺海域、尖閣諸島、朝鮮半島南部、黄海、東シナ海、南シナ海に分布する。

●形態● 体長100cm。体は楕円形で強く側扁する。体は淡紅色で胸鰭は長い。

●生活● 稚幼魚期には内湾や沿岸の藻場や砂礫地で生育する。

●食性● 摂餌は午前中で、甲殻類、貝類、イカ類、小魚などを主に捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● メジナ



●写真●

●分布● 北海道南部以南、東シナ海、台湾に分布する。

●形態● 体長60cm。体高が高く、よく側扁する。各鱗の基部に暗色点がある。

●生活● 代表的な磯魚で、各地の海岸でおなじみである。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● イシダイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 日本各地（西日本に多い）、韓国、台湾に分布する。

●形態● 体長80cm。両顎の歯は癒合して嘴状となり、これで硬い貝類や甲殻類もたやすく噛み砕く。

●生活● 浅海の岩礁域にすむ。若魚は好奇心が強く、ダイバーの姿を見に近づいてくる事が良くある。

●食性● ウニなど、かたい殻や甲をもった底生動物を好んで食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ウミタナゴ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道中部～九州の日本各地、朝鮮半島南部に分布する。

●形態● 体長30cm。体はタイ型でよく側扁し、柔らかい円鱗をこむる。腹鰭基部のうろ色点が特徴である。

●生活● 浅海の岩礁域にすむ。胎生する魚として有名。

●食性● 肉食魚で、多毛類・甲殻類など小形の底生動物を主食とする。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● キュウセン



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 函館以南（沖縄県を除く）、朝鮮半島、シナ海に分布する。

●形態● 体長34cm。体は一般に細長くて側扁し、円鱗でおおわれる。

●生活● やや内湾性で、岩礁のまわりや転石の多い砂底にすむ。低温期は砂中に潜って冬眠する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ホンベラ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

下北半島及び佐渡島以南（沖縄県を除く）、東シナ海、フィリピンに分布する。

●形態●

体長18cm。雌や幼魚の体は淡緑色が普通だが、紅藻類の茂みにいるものは赤みが強い。

●生活●

内湾性で、海藻が茂った岩礁付近に多い。温帯の環境によく適応した種類である。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ギンポ

●写真●



●分布●

北海道南部～長崎県に分布する。

●形態●

体長30cm。眼下に暗色横帯がある。胸鰭と尾鰭は橙色。

●生活●

潮間帯～水深約70cmの砂泥底や岩礁域の藻場に生息する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● サビハゼ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 青森県～九州、朝鮮半島に分布する。

●形態● 体長15cm。下顎から咽頭部にかけて多数のヒゲを持つこと、胸鰭上部に遊離軟条を持つことで他種と区別できる。

●生活● 浅海の砂底に生息する。全長5cmまでの幼魚は中層に群れているが、成魚では底生生活が主となる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ショウサイフグ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 岩手県以南、東シナ海に分布する。

●形態● 体長30cm。体は円滑で小棘は無い。体背方は不規則な褐色模様に覆われ、腹方は白色。

●生活● 水深100m以浅に生息する。沿岸性である。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● メバル



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道南部～九州、朝鮮半島南部に分布する。

●形態● 体長25cm。涙骨の下縁に後下方を向く鋭い2棘がある。

●生活● 卵胎生。水温が10度以下になると深みで越冬する。

●食性● 成魚は小形の魚類、等脚類、端脚類、エビカニ類、巻貝、多毛類などを食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ダイナンギンポ



●写真●

●分布● 形態的にやや異なる地理的二型（Form AとForm B）がある。Aは本州中部以南の太平洋岸、瀬戸内海、黄海、渤海に分布し、Bは積丹半島以南の日本海側、津軽海峡沿岸、岩手県、島原半島及び朝鮮半島に分布する。

●形態● 体長28cm。体は暗緑褐色。背鰭の棘条の後方に棘よりやや長い軟条がある。体全体に網目状の側線が走る。

●生活● 岩礁域の潮間帯に生息し、石の下や岩の間に潜む。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ピリンゴ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道、本州、四国、九州に分布する。

●形態● 雌は体長5cm程度で、雄は雌より小さい。ジュズカケハゼに酷似する。背側が淡褐色、腹側が白色。

●生活● 川の感潮域の泥底から砂泥底にすむ。同様な条件を揃えた汽水域にも生息する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● シマウシノシタ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道南部以南、インド・太平洋の暖海域に分布する。

●形態● 体長25cm。体は側扁し、眼は体の右側にある。有眼側は黄褐色で、約12対の黒褐色の横帯がある。

●生活● 水深100m以浅の砂泥域に生息する。

●食性● 端脚類などの小型甲殻類、多毛類などを捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● クサフグ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 青森県～沖縄に分布する。

●形態● 体背方は暗緑色で多数の白色点が散在する。胸鰭後方の体側に大きな黒色斑がある

●生活● 水深50m以浅に生息する。内湾の岩礁域、砂礫底、藻場に生息する。砂に潜る習性がある。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● コモンサカタザメ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 南日本～南シナ海に分布する。

●形態● 吻は三角形状でありあまり尖らない。背面は黄褐色で暗茶褐色の小斑点がある。

●生活● 沿岸の砂底に生息する。砂中に埋もれて生活する。

●食性● 甲殻類、魚類などを食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● アカエイ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 南日本沿岸、朝鮮半島、台湾、中国沿岸に分布する。

●形態● 体盤幅50cm。体盤背面は褐色、体盤腹面は淡色で黄色斑が散在する。

●生活● 海底で砂に潜り、目を出し、尾を斜め上方に立ててじっとしている事が多い。

●食性● 砂泥底に隠れる甲殻類や多毛類など底生性の無脊椎動物を好む。成魚は小型魚類も捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● コノシロ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 新潟県・仙台湾以南、朝鮮半島、台湾、南シナ海北部に分布する。

●形態● 標準体長25cm。口は端位で、上顎の後端は眼の中央を越えない。背鰭の最後軟条は糸状に伸びる。

●生活● 河口域や内湾に生息する。4～5月頃、河口域で日没後に産卵する。

●食性● 主に珪藻やカイアシ類などのプランクトンを食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● カタクチイワシ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道以南、朝鮮半島～南シナ海北部に分布する。

●形態● 標準体長14cm。体は細長く、円筒形に近い。

●生活● 沿岸から沖合いの表層を群泳して過ごす。産卵期は周年であるが、春と秋に盛期となる。

●食性● カイアシ類や珪藻などのプランクトンをろ過摂食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● サケ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 索餌回遊域は日本海と北緯42度以北の北太平洋。

●形態● 体長100cm、体重10kgになるが通常は75cm、4kg前後。

●生活● 海洋に最も適応した種で、淡水域での生活時間は短く、生活史の大半を海で過ごす。

●食性● オキアミなどを食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● オニオコゼ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 本州中部以南、朝鮮半島南部、華南に分布に分布する。

●形態● 体長25cm。鱗が無く、背鰭が眼の後ろから始まる。背鰭の棘に猛毒がある。

●生活● 水深200cm以浅の砂泥底に生息する。

●食性● 小型魚類を食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ホウボウ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道南部以南、黄海、東シナ海、南シナ海に分布する。

●形態● 体長40cm。体上半部は灰褐色地に不規則な赤色斑が広がる。体下半部は白色。

●生活● 水深25～615mの砂泥底にすむ。仔稚魚は浮遊生活をするが、やがて着底生活に入る。

●食性● 肉食性でエビ類を最も好み、他にカニ類やシャコ類、底生性の小魚を捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● マゴチ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 南日本に分布する。

●形態● 体長100cm余りに成長する大型種。体は著しく縦扁する。

●生活● 5～7月に接岸して浅海の砂場で産卵する。仔魚は1.8mm程で、15mmから底生生活に移行する。

●食性● 小型の底生魚類、エビ・カニ類、イカ・タコ類などを捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● スズキ



●写真●

※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道南部以南の日本沿岸、朝鮮半島南部に分布する。

●形態● 体長100cm。体が延長し、側扁する。若魚は体側に黒色斑があるが、成長とともに消失する。

●生活● 産卵期は冬。稚魚は春に沿岸浅所や内湾に入り、夏には沿岸から汽水域さらに淡水域に入る。

●食性● 主に魚類や甲殻類を食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● シロギス

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

北海道北部と沖縄を除く日本各地、東シナ海、台湾に分布する。

●形態●

体長35cm。体は細長く円筒状でやや側扁している。体色はあめ色、腹鰭と臀鰭前部は半透明な白色。

●生活●

内湾～沿岸の砂底に生息する。海底から上方約16cmまでの間にすむが、地形の変化に富む所に多い。

●食性●

甲殻類やゴカイ類を食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ブリ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

主生息域は北海道南部～九州、朝鮮半島東岸、沿海州南部である。

●形態●

体長120cm。体はやや細長く紡錘形で太い。背方は青緑色、腹方は銀白色。

●生活●

沿岸性の回遊魚で、やや沖合いの中底層に生息する。南方では瀬付きも多い。

●食性●

肉食性で、成魚はほぼ完全な魚食性である。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● マルアジ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 南日本、東シナ海に分布する。

●形態● 体長30cm。尾鰭は淡黄色～淡紅色。小離鰭がある。頭頂鱗は眼の中央を越える。

●生活● 内湾からやや沖合いにすむ。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● アカカマス

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 琉球列島を除く南日本、東シナ海～南シナ海に分布する。

●形態● 体長30cm。胸鰭を通る1縦帯があり、鱗のきめが粗い。

●生活● 沿岸浅所に生息する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● マサバ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 全世界の亜熱帯・温帯海域に分布する。

●形態● 体長50cm。体はゴマサバより側扁する。腹側にゴマ状の斑点は無い。

●生活● 大群をなして沿岸表層域を回遊する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● サワラ

●写真●



※この写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 南日本～東シナ海に分布する。

●形態● 体長100cm。

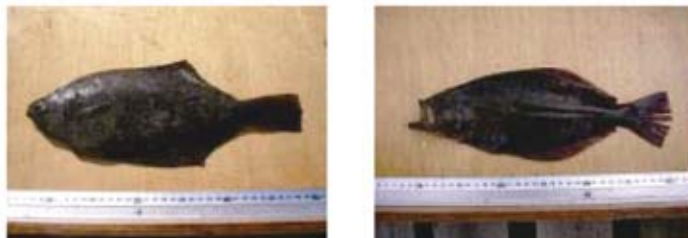
●生活● 沿岸表層性。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ヒラメ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本各地（沖縄県を除く）サハリン、千島～朝鮮半島を経て香港近くの海域に分布する。

●形態●

体長80cm。両眼は体の左側に位置する。口が著しく大きく、眼の後縁下近くまで開く。

●生活●

成魚は100m～200mの砂泥底域に生息する。

●食性●

食性は肉食性。魚類、イカ類、甲殻類などを好む。水温26℃前後になると食べなくなる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● イシガレイ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

日本各地、千島列島、樺太、朝鮮半島、黄海に分布する。

●形態●

体長50cm。体の両側に鱗が全く無く、滑らかである。

●生活●

沿岸浅所から水深100mまでの砂泥底に生息するが、隣接した淡水域にも入る。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ササウシノシタ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

北海道と東北地方を除く日本各地、東シナ海、黄海に分布する。

●形態●

体長16cm。眼は体の右側にある。有眼側は灰褐色の地に黒と白の斑点が散在する。

●生活●

浅海の砂底域に生息する。眼だけを出して砂中に潜んでいることが多い。

●食性●

小形のエビ・カニ・端脚類やハゼ類の幼稚魚など海底表面の小動物をえさとしている。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● クロウシノシタ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布●

北海道小樽以南、黄海、東シナ海、南シナ海に分布する。

●形態●

体長35cm。体は長楕円形。両眼は体の左側にあり、有眼側は黄褐色や青褐色、無眼側は白色。

●生活●

水深20～65mの沿岸の浅海や内湾の砂泥底に生息する。

●食性●

成魚は小型の甲殻類、二枚貝類、多毛類等を捕食する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● アカシタビラメ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 南日本、黄海～南シナ海に分布する。

●形態● 体長25cm。有眼側の側線は3本、口の後縁は下眼後縁を越える。

●生活● 水深20m～70mの砂泥底に生息する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● アミメハギ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 青森県以南の日本各地、朝鮮半島南部に分布する。

●形態● 体長8cm。体は強く側扁する。腰骨後端の鞘状鱗は2節に分かれ、不動性。雄の尾柄には剛毛がある。

●生活● 水深20m以浅の沿岸に生息する。沿岸の藻場や岩礁域に生息する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ウマズラハギ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 積丹半島、相模湾以南、東シナ海・南シナ海に分布する。

●形態● 体長30cm。体は強く側扁し、やや長い。体は灰褐色で多数の不定形暗色斑がある。

●生活● 水深20m以浅の沿岸、沿岸の藻場や岩礁域に生息する。

●食性● 小型甲殻類など底生動物を食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● ヒガンフグ

●写真●



※写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 北海道以南の日本、東シナ海、黄海に分布する。

●形態● 体長25cm。皮膚の表面をいぼ状の突起がおおう。体背方は淡褐色で黒色斑が散在する。

●生活● 水深100m以浅に生息する。ホンダワラの生えている沿岸の岩礁や藻場に生息する。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）

さかな図鑑

●種名● シマフグ

●写真●



※この写真は調査時に撮影した物です。

●分布● 相模湾以南の日本、東シナ海、黄海に分布する。

●形態● 体長50cm。体は小棘におおわれる。体背方に紺色の帯が数本斜走する。鱗は全て黄色。

●生活● 水深200m以浅に生息する。幼魚は内湾の砂泥底に生息する。成魚になると岩礁域に移る。

●食性● 甲殻類、イカ類、クモヒトデ類、魚類を食べる。

出典：山溪カラー名鑑 日本の海水魚（山と溪谷社）